

生徒会の思い出^(※1)高普第6回卒 平間 恒^(※2)

相高の思い出と言えば先ず生徒会（正式には生徒自治会）出版部の活動である。

2年生後半から3年生前半にかけて、暇さえあれば仲間達と生徒会活動をしていた。テーマは生徒会の改革であり、生徒会新聞の編集・発行であった。

新聞の名前は「若駒」。校歌からとった。

生徒会改革とは何か？今にして思えば、それは民主化と合理化であった。

我々が入学した時には既に生徒会会則が有り、生徒から集めた会費を各クラブに予算として割振っていた。

生徒会改革の背景はその予算の配分と使い方であり、もう一つは会則の不備であった。

私が生徒会改革運動にのめり込んだのは1月に生徒会の仮行政委員会出版部長に選ばれてからである。浅倉剛^(※3)君が委員長であった。

3年生から生徒会の運営を引き継いでみると色々問題が多かった。仲間が集まり我々が生徒会改革をやろうと、「若駒」を大いに活用して校内キャンペーンを開始した。仲間が広がり、会則改正促進同志会が3月4日に結成された。蓬田哲郎^(※4)君等が代表であった。

とは言え現実には厳しく、評議委員会委員長の水田実^(※5)君等の苦労は大変なものであった。

新年度になり、生徒会の選挙で会長は早水恒利^(※6)君、副は佐藤雄司^(※7)君が当選。早速新年度予算編成、2度の生徒総会開催と会則改正の活動を並行して進めるのだから、会長をはじめ生徒会役員の苦労は相当なものであった。

会則改正は丁寧に順序を踏んで進めたので、到頭2学期に入り、9月7日全生徒投票の結果、漸く成立した。

今から44～5年も昔の話である。記憶に自信がないので、執筆を指名されてから諸友に尋ね、大迫徳行^(※8)君には「若駒」のコピーを送って頂き、更に母校にお邪魔して調べた結果色々な事を改めて認識した。

この辺の事情が「相中相高八十年」^(※9)192～5頁に要領良くまとめられているのを見て驚いた。且つ面映ゆい思いであるが、高く評価して下された筆者に敬意を表したい。

「若駒」第一号は誠に稚拙で編集・発行責任者として汗顔の至りではあるが、役に立ったのである。

所で、私を生徒会改革に駆り立てた動機は何であったか？。当時の生徒会の状況が「中学校で習った民主・自治の精神とひどく違うではないか！」と感じ、なんとかせねばならぬと言う若者特有の正義感であったと思う。

そして最後までやり遂げなければ「何もしなかったと同じだ」と言う思いが、我々仲間を夢中にさせていたと思っている。

このような強い印象の回りを切れぎれの記憶がぐるぐると回っている。出版部の構成員も定かには覚えていない。

主筆の浅倉君。一年下の橋本茂雄君^(※10)と原田潔^(※11)君、それに井桁美恵子^(※12)さんが居たのは覚えている。彼女は亡くなった。美人薄命か。

丸山啓四郎^(※13)君が資金不足を補う為の広告を良く取ってくれたっけ…。

そんなこんなで、私の相高の思い出はこの半年余りに凝縮している。それでいて具体的な事実とかその前後関係となると、まるきり覚えてなかったり、間違っていたりする。記憶が取り戻せるかと思い、相馬駅から相高への幾筋かの町並みを巡って見たが、すっかり景観は変わっていた。「若駒」第一号を印刷した只野印刷所はどこにも見当たらない。

相高も、記憶の情景と重なる物は講堂の佇まいとその前に聳える鈴掛ばかり。歳月は四十と数年で！こうも変えてしまうものか！。

校内をご案内下された長谷川修三^(※14)先生から頂戴した最新の「相馬高新聞」を帰路の列車の中で見ると、その一面最下段に『若駒』なるコラムが有るではないか！。嬉しかった。

(※1) 創立百周年記念誌『相中相高百年史』(1998(平成10)年7月発行) 第四部「思い出の記」より。

(※2) 昭和29(1954)年卒、中村出身。

以下(※3)～(※8)は、高普第6回、昭和29(1954)年卒の方々である。

(※3) 中村出身。

(※4) 大野出身。

(※5) 中村出身。

(※6) 大野出身。昭和39～51年・相高教諭：国語/社会。

馬城かわら版 第147号「広く世界に目を向けて、相互理解や協力を努めよう」に掲載。

(※7) 中村出身。

(※8) 大野出身。昭和43～54年・相高教諭：国語。

(※9) 創立八十周年記念誌、1978(昭和53)年5月7日発行。

編集委員：今村昭司、大迫徳行、熊耳 敏、木幡テイ、斎藤純男、佐藤 実、鈴木昌一、田代俊樹、但野峯雄、立花正人、寺島琢彦、長谷川修三、若松丈太郎。

協力者(旧委員)：阿部勝郎、荒 義剛、遠藤時夫、早水恒利、藤原一良、五十嵐日出子、藤原芳子。

(※10) 高普第7回、昭和30(1955)年卒。中村出身。

(※11) 高普第7回、昭和30(1955)年卒。中村出身。

(※12) 高普第7回、昭和30(1955)年卒。八幡出身。

(※13) 高普第6回、昭和29(1954)年卒。中村出身。

(※14) 高普第8回、昭和31(1956)年卒。中村出身。昭和48～58年・相高教諭、平成7～10年・相高講師：英語